

笑顔を咲かせよう♪

ちゅーりっぷ通信

平成27年

7月号

いきいき暮らす、
あの人に会いたい

第12回

タレント・工業デザイナー・怪談家

稲川淳二さん

1947年(昭和22年)東京・恵比寿生まれ。^{くわさわ}桑沢デザイン研究所・研究科を卒業後、工業デザイナーとしてモーターボートなどのデザインに携わる。76年、ニッポン放送の『オールナイトニッポン』でブレイク。台本もリスナーからのハガキもない中で、毎回2時間しゃべり続ける才能で広く注目された。テレビ番組のリポーターやバラエティでも活躍し、とくに迫真の話芸による怪談で多くのファンをもつ。

都内のホテルにて

怪談でおなじみですが、もともとは工業デザイナーでいらっしやいますね。

ええ。わたし、子どもの頃から絵が得意でしたね。高校のときも美術部にいて。こんなこというと怒られちゃうんだけど、正式の部員でないくせに一番絵がうまかったんです。美術部の先生が有名な画家のお宅、たとえば岸田劉生^{きしだりゅうせい}さんの家に連れて行ってくれたりしましてね。だもんで、将来絵描きになるつもりだったんです。

そしたら、美術の先生、かわいがってくれてたんですが、お前みたいにおしゃべりなヤツは絵描きに向かない、絵描きってのはもつと寡黙^{かむく}なもんだと(笑)。お前はデザイナーが向いているんじゃないかということで、桑沢デザイン研究所に入ることにしたんです。わたし、生まれが渋谷区恵比寿なもんで、渋谷にある桑沢には子どもの頃からなじみもあったんですね。

で、インダストリアル科に入って、その後研究科を卒業したので4年間桑沢で勉強したことになります。

わたし、モノのない時代に生まれているんですよ。だから車とかが憧れなんですよ。周りにワシントンハイツなんてありまして、軍属の人が住んで外車が停まっている。でもわれわれの近所にある唯一の車はダットサンでしたもん。自転車みたいな細いタイヤで、ウインカーなんて方向指示器がピヨコンと飛び出すようなものでした。エンジンもテンコテンコテンコって、



うるさいの。そういう原風景があるから工業デザイナー、やってみたいなと。

でも桑沢にいたるとき、ひょんなことから六本木のあるお店の営業を任されてましてね。学生のくせに土日だけやることになったんです。そこは芸能人のお客さんも多かったんで、いつのまにか芸能界に縁ができたんですね。

芸能界で大活躍されているときに障害をもった息子さんが生まれました。

ええ、次男ですね。わたし、長男が生まれたときうれしくってね。姉のところは子どもがいなくて、弟はまだ結婚前でしたしね。親父やお袋にしてみれば、孫の生まれた顔を見たかったわけですよ。さんざん親不孝してきたし、唯一の親孝行が長男が生まれたことでしたよ。みんな喜んでくれましたね。子ども一人生まれるってことはこんな大きなことなのかと思いました。

長男一人いるだけでこんなに幸せなんだから、もう一人いればもっと幸せになれると思いましたたけど、ところがそれが大きな間違いでしたよ。

次男が生まれるというとき、わたしはすごく忙しくなっていて、あまり家にいなかったんです。その日もそうだったんですけど、九州から戻って、ひと息ついてまたテレビ局に行く予定だったんですよ。そこへちょうど電話が入ってきて、生まれながらと。病院に行くと、院長先生が、まだ赤ん坊になっていませんと。どういことですか、と聞くと、実はまだ泣いてないんです。泣かないと赤ん坊と認められないんですよ。

と思ったのが、そうか、手術で死ぬかもしれないけど、いまだしたら殺せるかもしれないなと。で、心のどこかでささやいているんです。いましかない。いましかないぞ。わたしさえ黙ってれば、女房や長男にわからない。ただ自分だけは死ぬまでこの罪を抱えていつまで、向こうに行ったときにこの子に謝ろうと思った。

それで手を伸ばしたんです。でもね、色の白い子でね、はあー、はあーと息をしているですよ。鼻の近く、ほんのセンサーくらいまで手を伸ばしたんだけど、その先で手が動かないんですよ。震えちゃって…。子どもの顔を見たまんま、ぶるぶる震えちゃって…。もう、あのときのことはいじいね…。

誰だって憎くはないんですよ、自分の子ども。血を分けた子どもが憎いわけがない。がんばって生まれたのを知っているんだ。この子がいま戦っているのを知っているんだ。この子、絶対悪くないんだ。この子はごも悪くないのに、自分がいま殺そうとした。でも殺さなかつたら、この子だっていついだろうなあって。この体でもう生きていたらいついだろうな。周りもたいへんだし、勘弁してくれよと思うんだけど、手が動かない。震えるんですよ。だめだ殺せないと思つて、引込めたとき、



ちよつと女房が戻ってきたんですね。

で、ベッドに行くとき女房が赤ん坊を抱いているんですが、気の強い女房が珍しく涙ぐんでいるんですよ。この子、腫がずれている、どこか様子が変だよ。院長先生は、いや、生まれたばかりの赤ん坊は腫がずれたりすることはよくありますから心配ありませんよというんですが、女房がいい張りましてね。それから11人も医者に診てもらったんです。



奥さまの不安が的中してしまうことになるわけじゃないか。

12人目のお医者さん、最後にもう一回だけ診てもらおうということになり、その日は銀座での収録が終わり、広尾のスタジオに向かったんです。それで、マネージャーがスタジオから病院に電話をかけてくれたんですが、電話口で突然顔色が変わったんです。すぐわたしが代わると、どうやら助かる見込みはない、もし助かっても一般の人のような生活はできないだろうということなんです。

頭、まっ白ですね。えーっと思つた。そしたらラジオなので、稲川さん、お待たせしましたーって声がかかって。すでに芝居の始まっている座敷に、わたしが入って笑わせるシーンだったんです。ふす

すさまじい体験に言葉もありません。

手術は朝8時から夜8時を過ぎる長いものでした。終わって、たくさんのお医者さん、体中を管でつながれている子どもの姿を見ました。体中が包帯で巻かれて、見えているのは口の部分と手のひら、それと足の裏だけ。これがみんなきれいなピンクなんだ。でも、でもその手のひらと足の裏、せんに無数の針が刺さっている。それなのにこの子が口を見せて呼吸をしているんですよ。はっ、はっ、はっ。その瞬間、あーっと思つたんです。戦っているんですよ、おれはななてんてん考えてようとしている。うわー、おれはななてんてん考えていたんだと、最低だと思つたんですよ。

自分がほしくて生んだ子で、元気で生まれりゃ自分のもの。宝物でもって、それでなかつたら、おれの子もじゃないって、じゃ、この子は誰のためにこんなに苦しんでいるんだっし。

子どものベッドが運ばれて闇に消えていくときに、わたし、初めて子どもの名前呼んだんです。それまで呼んでないんですよ、認めてなかつたから。ゆっきという名前なんです。自由の由に、輝くと書いて由輝。そのとき初めて遠ざかっていたベッドに向かっつてね、由輝ーおれはお前のお父ちゃんだぞ、由輝ー由輝ーおれはお前のお父ちゃんだぞ、由輝ーっつて子どもの名前呼びました。

由輝さんはずっとがんばり続けていられたのじゃな。

成長のたびにきつい手術を受けて、由輝はずっとがんばり続けました。この子、不思議なんです。よ。2歳ぐらゐのとき、家にいるじゃなですか、色を

ま開けると登場になるわけで、わたし、暗い舞台セットのふすまの裏に立っているんです。そこに、はい20秒っていう声がかかってくる。頭の中はまっ白のままですよ。はい10秒前、9、8、7と声がかかってくる。2秒前でわたし、舞台に入りました。そして自分からパンとセリフしゃべっているんです。

その舞台のあと、共演の石倉三郎ちゃんが、どうした、なにがあつたと聞くと、なんでもなくて答えていたけど、とうとう実は…と話したら、芸能界は親の死に目に会えないってのはあるけど、子どもがそんなときに仕事なんかしなくていいんだよーっつて真剣に怒られたな。

その次にはフジテレビの収録があつて、子どもが生まれたことを知っているプロデューサーの計らいで、番組でくす玉を割ってくれてね。でも、誰にもいえないじゃない。収録終わって外に出たら、わたし、景色が見えないんです。涙で景色が見えないんですよ。

周囲を笑わせる人気タレントですから、かえってさぞおつらかつたでしょう。

手術の必要があるんですが、生まれたばかりの赤ん坊では手術ができないんですよ。で、いよいよ手術ができる年齢になってきたとき、仕事の途中で病院に行つたら、ガラス張りの集中治療室で白衣を着た女房が付き添っているんです。で、女房は疲れているから、交代してわたしが白衣を着てその部屋に入ったんですよ。

赤ん坊、すやすや眠っているんです。そのとき、まわりに誰もいない。医者もナースも、誰も。ふっ

グラデーションで並べたんですよ。驚きました。絵が好きなんだ。やっぱり自分の子どもだなあと。でも、家庭の事情があつて、しょうちゅう一緒にないわけだね、由輝と手をつないだのは、病院いったときに暗い通路を手をつないで10メートルくらい歩いたときかな。そんな感じなんです。

でもね、この子はなんにもいわないけど、ふつと笑顔を見せてくれたりするとき、教えてくれるんですよ、世の中にいらぬ命なんてないんだってことを。そうして2年前亡くなりました。26歳でした。

だから、わたし、いいいたいですよ。よく命を無駄にする方がいる。人を殺す人もいれば自殺する人もいる。けど、ね、生きるってどんなに大事なことか。一日一日を大変な思いをして生きた人間がいたことを知ってほしいですね。

いまね、由輝にいろんなことを教わつた恩返しに、怪談のツアーを障害をもつた人にも聞いてもらおうといういろいろやっているんです。それは由輝がいなかつたらたぶんやることもなかつたらうと思ひます。震災のあとの東北にも行つたりしてね。

由輝が教えてくれました。人生変わりましたよ。13年前に思つところ

あつてテレビの仕事をやめて、夏だけ怪談があるんで出ますがね(笑)。でもわたしはこれでよかったかなと思つています。





アニマルセラピーで癒されよう

動物好きの方であれば犬や猫を見て微笑んだり、柔らかな毛並みに触れて穏やかな気持ちになる方も多いでしょう。動物と触れあうことの効果は心理的にも大きく、いまアニマルセラピーとして注目されています。

アニマルセラピーは動物介在療法ともいわれ、人と動物が触れあうことで生活の質を向上させることを目標に行われている活動です。

犬や猫ばかりでなく、イルカやうさぎ、小鳥や馬といった動物も人に情緒面で好ましい影響を与えることが知られており、これらの動物と触れあうことで人のもつ自然治癒力が高まったり、うつ状態が軽くなったりする効果があるとされています。

動物を撫でていたり、あるいは動物に見つめられているだけで、気持ち落ち着くという経験はきつと多くの方がお持ちでしょう。アニマルセラピーは、こうした経験をもちと積極的に日常に取り入れようとするもので、ストレスにさらされることの多い近年、とくに広がりを見せているようです。

とはいえ、難しく考える必要はありません。もし身近に犬や猫などの動物がいて、動物が苦手でないので

あれば、じつと見つめたり、撫でてやったりしてはいかがでしょうか。いつの間にか心がほぐれたり、穏やかな気持ちになったりする一方で、日常を今までの以上に豊かに過ごせるようになるかもしれません。

ただ、あまりに長く触れることが動物にとってストレスになることもありますので、ほどほどに。かわいい動物たちと自然に触れあって癒されたいものです。



遠い思い出、なつかしい歌



「かもめの水兵さん」

波間に浮かぶ白いかもめたちを見て、この歌を思い浮かべる方もきつと多いはず。どこかユーモラスでかわいいう水兵さんの姿に、つい目尻もさがってしまいますね。

作詞 武内俊子

作曲 河村光陽

1. かもめの水兵さん
並んだ水兵さん
白い帽子 白いシャツ
波にチャップチャップ 浮かんでる

2. かもめの水兵さん
駆け足水兵さん
白い帽子 白いシャツ
波をチャップチャップ 越えていく

3. かもめの水兵さん
ずぶ濡れ水兵さん
白い帽子 白いシャツ
波でチャップチャップ お洗濯

4. かもめの水兵さん
仲よし水兵さん
白い帽子 白いシャツ
波にチャップチャップ 揺れている



歌のこぼれ話

かもめたちが浮かぶこの歌の舞台は、実は横浜港。渡航する人を見送るために訪れた夕暮れの横浜港大さん橋で、たまたま目にした光景を元に作詞されたといわれています。ドイツ語や韓国語などにも訳され世界各国で歌われており、2007年(平成19年)には『日本の歌百選』にも選ばれました。横浜港の山下公園には楽譜と歌詞が刻まれた碑が建てられています。

今月のクイズ



日本全国
県名クイズ

かたーい頭を柔らかく！

1~11のイラストはそれぞれ、ある県を表しています。クイズを解いて日本全国を旅しましょう！

ドクター青木晃の
アンチエイジング
講座



病は気から。
アンチエイジングも気から②

「メンタル(心)を若く保つ。もっと具体的に言うと、「生きがい」とか「ときめき」などです。そこで今回のテーマは「ときめき」です。

わたしの特技のひとつ「作詞」。

有名な作詞家の先生の「作詞の会」に参加していますが、作詞では多くのアンチエイジング効果が実感できます。

方法は簡単。まずテーマ設定。たとえば「夏休み」とすると、そこから思い浮かぶことをどんどん書き出します。「海」、「花火」、「宿題」、「帰省」などなど…連想ゲームですね。そして出てきた言葉からストーリーを膨らませます。

自分目線での詞だけでなく、全く違う別の人物(女性や中学生やレシーなど何でもOK)になりきった詞もいいですね。自分の知らない街に空想で旅をしても楽しいです。そして肝心なのは、作詞は詩では

なく詞ですので、メモリーに乗せること。手始めに、今回の歌「かもめの水兵さん」でやってみましょう。

リズムに詞をマッチさせること、想像すること、そして思い出すこと。若いころ好きだった人や懐かしい風景を思い浮かべてみてください。そのとき、あなたの心にはきつと若々しい「ときめき」が宿っています。ご自宅で簡単にできるアンチエイジング、作詞。ぜひお試しになって、編集部まで自信作をお送りください！



青木 晃 横浜クリニック院長
1961年東京都生まれ。1988年防衛医科大学医学部卒。防衛医大、東大医学部附属病院などで、内分泌・代謝内科、腫瘍内科の臨床研究に従事。「老化が病気を引き起こす」という観点からアンチエイジング(抗加齢)医学のフィールドにおいて早くから活躍。最新作は『「いい眠り」は体を引き締める睡眠ダイエット』(新講社)

増ページをしたちゅーりっぶ通信、大変うれしい反響を多数いただいています。ありがとうございます！
 今回から編集後記として、表紙インタビュアーのこぼれ話などを中心にお伝えしてまいります。今回はタレントの稲川淳二さん。
 やはりおしゃべりを職業にしている方はすごいです！
 一気にお話に引き込まれて、時間を忘れてしまいました。
 ご子息のお話は、稲川さんも時折声を詰まらせて、お話くださいました。聞いているわたしも涙。一生懸命に生きることの大切さを改めて実感いたしました。
 9月5日には恒例の怪談ナイト(関内ホール)にいらっしやるので怖いのが好きな方はぜひ！

- 厚みがあるなと思ったら、今月から6ページのピンクのマークが目に見えなくなりました。そしてその横に佐伯チズさんがほほ笑んでいるじゃありませんか。まあなんてお綺麗なんでしょう。女の私が見てもほれぼれしました。夫君やお母様の介護の苦労があったなんて。これからも輝き続けてくださいな。(南区N様)
- 佐伯チズさんはお仕事柄もさることながら、気持ちのハリが顔に出ているんですね。私も顔に塗るクリームは「片手間」でなく「両手」でつけようと思いました。昔、姑と味噌を作っていたとき、「手間は惜しまずに」と言われていたことを思い出しました。手間はかけた分だけお返しをしてくれるという口癖も懐かしい思い出です。読む楽しみをありがとうございますという気持ちです。(旭区N様)
- 生活に追われていたところは「散歩」(すこやか生活ワンポイントレッスン)どころではありませんでしたが、今は健康維持のために散歩するようにしています。カートを使ってもいいと書いてあったので、とても気が楽になりました。(神奈川区K様)
- ページ増で、さらにレベルアップですね。利用者が関心を持ったテーマを取り上げてくれて、専門の先生からの知識も学べるので大変嬉しく感謝しています。著名人のインタビューは非常に充実した内容で、他の事業所のヘルパーさんに自慢してしまいました。これからも二層の期待をしています。(港北区M様)

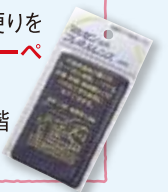
クイズの答え

- | | | |
|------|-------|------|
| ① 青森 | ⑤ 神奈川 | ⑨ 徳島 |
| ② 岩手 | ⑥ 長野 | ⑩ 宮崎 |
| ③ 秋田 | ⑦ 愛知 | ⑪ 沖縄 |
| ④ 埼玉 | ⑧ 和歌山 | |

皆さまからのお便りをお待ちしています。

編集部では、ご意見、ご感想、とりあげて欲しいテーマなど皆さまからのお便りをお待ちしています。お便りをくださった方の中から、**抽選で5名様に薄型ルーペをプレゼント**いたします。ふるってご応募ください。

〒221-0055 横浜市神奈川区大野町1-25 横浜ポートサイドプレイス4階
 横浜市福祉サービス協会「ちゅーりっぶ通信」編集部



今月の協会ニュース

ご好評を頂いている「介護職員初任者研修」の「通信課程」(7月18日開講)が今年も始まります。また「通学課程」は9月下旬と12月中旬にも開講を予定しています。《介護する人・受ける人に安全で安楽な介護》が motto です。
 研修センターまでお気軽にお問い合わせください。

【研修センター】 TEL 045-228-8899

お客様相談室

平成26年度「お客様アンケート」の報告
 「訪問看護編」

ご協力ありがとうございました。

平成27年3月、訪問看護ステーション(にし金沢)のみなさん(※さかえ)をご利用のお客さま全員にスタッフの接遇と仕事ぶりについてのアンケートを実施させていただきました。その結果、訪問看護というものに戸惑いがあったお客様が「スタッフの笑顔や物腰のやさしさに安心ができた」「母に合ったりハビリをしてくれる」「父にとってより良い介護方法を考えてくれた」などの声を頂きました。また、「今まで一人で見ていたので大変だった。体も心も軽くなった」「リハビリをしながらの会話が楽しい」と訪問を心待ちにしてくださいる方もいらっしゃいました。訪問看護ステーション職員一同、コミュニケーションを大切に、これからもお客様に安心と信頼をお届けすることを心がけ、サービスの向上に努めてまいります。
 ※ヘルパーステーションさかえは26年12月に開所しました。

介護者のための相談電話

介護に疲れたとき… **ほっとライン**

介護に疲れて行き詰まったり、不安になったりしたとき、ひとりで悩まないで、ほっとひと息ついてみませんか？

☎ 045-450-3194

「お客様相談室」をご利用ください

「お客様相談室」では、事業やサービスについてのご意見やご要望をお受けしています。まずはお気軽にお電話ください。

☎ 0120-701-782 FAX 045-450-3158

※受付は年末年始および祝祭日を除く月曜～金曜の8:45～12:00 / 13:00～17:15まで。ご相談の秘密は厳守いたします。

協会の理念

- お客様の満足
- 人を大切にし共に育ちあう企業風土
- 公正で透明感のある企業倫理

社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会

〒221-0055 神奈川区大野町1-25 横浜ポートサイドプレイス4階

☎ 045-450-3110 FAX 045-450-3115

ホームページ <http://www.hama-wel.or.jp/>

